

## 7 ラグビーワールドカップ2019 開催への支援について

イングランドで開催されたラグビーワールドカップ2015の日本代表チームの活躍によりラグビー人気盛り上がった。このラグビー人気を定着させ、文化として根付かせることがラグビーワールドカップ2019の成功へとつながるものである。そのためには、積極的に大会PRを行い大会気運の醸成を図る必要がある。また、ラグビー競技者人口を増加させることも重要である。

さらに、大会の開催による経済的、スポーツ・文化的な波及効果を、開催都市のみならずチームキャンプ地となる地方自治体、周辺の地方自治体なども含めた地方の各地域に行き渡らせることが、本大会を日本で開催する上での重要な意義の一つである。

については、次の事項について特段の措置を講じられたい。

- 1 ラグビーワールドカップ2019の開催気運を盛り上げるため、国を挙げて、大会開催に向けた広報を強化すること。

また、ラグビー競技者人口を増加させるため、タグラグビーの小中学生年代への普及促進を図ること。

- 2 大会の開催を契機として、地方自治体が独自に行うラグビーを普及啓発するための取組やラグビーを通じた国際交流推進の取組などに対して必要な財政支援を行うこと。

また、試合会場、チームキャンプ地など大会関連施設等の整備・更新・機能向上など、地方自治体が行う開催準備のための財政負担に対し、これを軽減するために必要な財源措置を図ること。

- 3 経済、スポーツ・文化など、大会の開催に伴う様々な効果が限定的な地域に留まったり、一過性で終わることなく広く地域の活性化に資するように国として支援すること。